



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBÉ

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：世を照らす光となろうー恵みを愛もて分かち合おう
- アジア会長主題：歳月はY'sをワイズ（賢者）にするー行動が活力を呼び覚ます
- 西日本区理事主題：先頭に立ってワイズの光を輝かそう、クラブで、地域で、国際社会で
- 六甲部部長主題：柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、クラブの新しい「顔」を作るべく、それぞれの役割を楽しもう

2013年3月

EF・JWF 強調月間

今月の聖句

わたしは主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくと見なしています。

フィリピの信徒への手紙 3章 8節

3月第1例会

開会点鐘 18時30分 進藤啓介会長
 ドライバー 山口 徹 兄
 ワイズソング
 聖句朗読・開会祈祷
 [プログラム]
 ・ゲストスピーチ：
 「障害者の就労支援の現状を見る
 ～『ネットワーク神戸』の働きを通して～」
 スピーカー：ネットワーク神戸理事長
 伊田 昌義氏
 ・タイワークキャンプ参加者挨拶
 山本 正高兄
 報告および事務連絡など
 ハッピーバースディ
 閉会点鐘 20時30分 進藤啓介会長

3月誕生日おめでとう

11日 馬場 教子
 12日 井出 浩
 25日 長内 建祐

2月在籍者	2月出席者	2月出席率
19名	メン 13名	68%
広義会員	メネット 8名	(含メイキャップ)
0名	コメット 0名	前月出席率
合計 19名	ゲスト 2名	74%
	合計 23名	

1月分BFポイント

切手 0円	現金 0円
本年度累計	
切手 0円	現金 0円

3月26日(火)第2例会 19:00～

- ◎ 4, 5, 6月例会プログラム確認
 - ◎ 次年度に向けて
 - ◎ その他事務連絡
- 第2例会においても、重要な議題を協議し決めてゆきます。都合をつけて出席をお願いします。

会長 進藤啓介 副会長 尾上尚司 会計 森 章一
 書記 山本亮司 連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴
 例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ 地域奉仕【2】

進藤啓介

これを書くのはまだ2月下旬で、寒い日が続いています。我々のクラブは年を召された方が多いので（ゴメンナサイ）少し心配します。もう少しで、春…ユックリ待ちましょう。

さて、この3月の六甲部評議会でご報告いたしますが、「少なくとも各委員会が一回例会を担当しよう」という今年一番の目標の目途が立ちました。ホッとしています。

その3月例会は「地域奉仕」をテーマに山口さんに企画していただきました。私の神戸クラブの経験ではこのテーマでの例会はまだ経験しておりませんので非常に楽しみにしています。今回のスピーカーは、ネットワーク神戸の伊田理事長にお願いして勉強するわけですが、是非有意義な楽しい時間が持てる事を祈っております。私の知らない世界をじっくりと聴かせていただき、勉強しようと思ひます。

先月は「東北」をテーマに選びましたが、今月は我々の住む「神戸」という地域において、クラブとして今後「何か地域奉仕ができないか」を考えてみたいと思ひます。今回のお話をその切っ掛けとして、皆で考え、小さな事から始めたいと思ひます。大事なことは、クラブの全員が「やろう！」と思ふ事。又、それぞれが、個人のできる範囲で「参加」することの出来るテーマであることが大事だと思ひます。時間をかけてでもかまいません。何か一つ決めて行動に移していきましょう。それを今年、来年の課題としたいと思ひます。

おしらせ

▼東日本大震災復興支援募金

日時：3月10日(日)14時～17時

場所：元町 大丸前

▼六甲部第2回評議会

日時：3月16日(土)15時～

登録開始14時30分

場所：神戸YMCAチャペル

会費：3,000円

1,000円(評議会のみ出席の場合資料代)

議事：15時～17時

懇親会：17時15分～19時15分 サイコウ亭にて

ギターの伴奏で「みんなで歌おう」

9月9日開催の六甲部部会で配布の歌詞カードをご持参下さい

▼イースター早天礼拝

神戸YWCAと合同で、恒例のイースター礼拝がもたれます。

日時：3月31日(日)午前7:00～8:00

場所：神戸東遊園地

▼タイワークキャンプ30周年記念式典

タイ、チェンマイでタイワークキャンプ30周年式典が開かれます。参加ツアーの案が届いています。

旅程：9月13日～18日

9月13日午前 関西空港発

夕刻 チェンマイ着

9月17日 夜 チェンマイ発

9月18日午前 関西空港着

*往復ともバンコック乗り継ぎ

六甲部チャリティボウル速報

▽3月2日(土)、神戸六甲ボウルで、六甲部チャリティボウルが開かれ、長内建祐メンが、256のスコア(2ゲーム合計)で優勝しました。

神戸クラブからは、長内メンの他、進藤、大塚、山口メンが参加しました。

<今月の聖句に添えて>

パウロは熱心なユダヤ教徒であり、クリスチャンを迫害までしていた人でした。ユダヤ教から見ればキリストの教えは邪教のごとくに思っていたのでしょうか。その人が主イエス・キリストに捉えられたのです。その後の変容の有様は彼の書簡に表れていますが、この聖句はその中の一つです。

(山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム)

2月第1例会 Time of Fast

長内靖子

2月のゲストスピーカー・神戸YMCA主事松田康之氏より「神戸YMCAの今後の東日本大震災への関わり方」震災から1年11カ月どのような活動をしてきたのか、そして2013～2015年の中期計画についてお話しいただきました。

- ・2011.4～6月 計3回ボランティアバス派遣。
今どういう状態で何が必要なのか、両親を失った子供たちの心のケアを。
- ・2011.7月、2012.7月 計2回山元町の人々ともに、泥にまみれたイチゴ農家の支援を。
- ・2011.7月、2012.3月 計2回 宮城の中学生と神戸の中学生が神戸でキャンプ。
- ・2011.8月、2012.3月7月 計3回 小学4～6年生40名の福島の子供を余島へ招待。外で遊ぶことがなかった子供達が思いっきり海で遊んだ。
- ・避難ファミリーサポート 被災児童支援制度92件、ファミリーキャンプ2回（母子の週末キャンプ）日帰りファミリープログラム（土日六甲山やしあわせの村へ）

これからも、福島の子供も招待in余島は、2015年まで継続。避難ファミリーサポートプログラムも神戸に避難し働きはじめたお母さんと子にゆったりとした時間を家族で過ごしていただくために、被災児童支援制度で心と身体の豊かな成長を願ってYMCAプログラムの参加を支援し、日常的な関わりを大切にして2014年以降も形を変えて継続するとのことでした。

これからの活動で大切にしたいことは、現地の人々の声を聞き、支援を呼びかけ続けること、自分たちに出来ることをしていくこと。

震災復興リーダー会は毎月1回募金活動を続けています。お金だけでなく震災を忘れないためにも呼び掛けを今も続けています。

関わり方は形が違っていい、長く続けられるよう無理をしない、ネットワークで繋いでいく。☆すべては未来を生きる子供たちの為にというお話でした。



私たちワイズメンズとして何ができるのか。「リーダーを送り出すだけでなく現地のリーダーを育てていくことを考えた方がいいのではないか」「キャンプに来る子供も同じ地区の子ども同士より抽選で当たって知らない子ども同士の方が日常を引きずらず一期一会の生き生きした面がでる」そして、「子供に目を向けているのであれば出かけてほしい、YMCAのない地域にも出かけていき、その地域は支援から取り残されていないか、取り残されているところを探してほしい。YMCAを広める活動にもなるのではないか」など活発な意見が飛び交い、個人で支援に行かれているポートクラブの大野さんのお話に、支援とは何かを考える良い機会となりました。

訃報

2月26日夕、西日本区理事 成瀬晃三氏が天に召されました。2月21日からマレーシアで開かれたアジア会議に出席され、25日朝、帰国されたばかりとのことでした。

2月28日(木)正午から、日本キリスト教団名古屋中央教会で告別式が行われました。

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。



Kobe Menettes

Declared March 10·1965

すっきり暮らす

大塚敏子

息子たちが来て 賑やかだった年末年始が過ぎ、また夫と二人の生活が戻ってきました。

今年こそ我が家を物置にしないように、すっきり気持ちよい、住み心地よい場所にしようと、生活改善、整理整頓を心がけることを決意しました。先ず物を増やさない事、このルールを守って、楽しく気持ちの良い生活をしたいと思っています。

思いついてまず最初に、二階から始めました。納戸に入る壁にそって和ダンスが二本、本立て、四メートルの幅に、息子のドラム、ギター、カセット・CDの詰まった箱、スーツケース、アルバム、クローゼット、etc…あまりの量に、一時間ほど手元のアルバムに目を向けて、本当に私にできるかなあと、少し不安になりました。

ため息をつきながら階下に降りてみると、テーブルの上は新聞、郵便物などさまざまの物で一杯です。これらを元に戻し、座布団を部屋の隅に片付けると部屋が広く感じられました。

何か心が軽くなり、よし頑張りますと自分に言い聞かせます。一日の流れをスムーズにするため、計画を立てて進めて行く事も大事であると気付きました。昨年10月、教会に婦人会の例会の場所として、家を開放し使っていただきました。そのために大掃除をすることになり、2週間ほど障子紙の張替から、窓ふき等をして大変でしたが、それが整理に良い機会になったことも思い出しました。

いろいろ課題はありますが、今年こそは、我が家の雑然としている部屋の中を忙しいからできないのではなく、汚れがこびりつかないうちに、汚れをためない、見えるところから見えないところへと、楽しく、気持ちよく工夫をして、すっきり暮らすために頑張っていこうと思っています。



お世話になります

名田敦子

今、私たちの教会では、「部制改革」が進められています。なんだかとても厳めしい響きがありますが、いまある教会の更なる活性化をめざし、誰でも”一人一役”で何らかの働きに参加しましょうというものです。

教会には、聖礼典にとまなうもの、各部集会の立案・実施、会堂の管理、財務、よりよい交わりのためのケア。一つ一つ数えあげたらきりが無いほど働きがあります。

私は高齢者である。身体が弱くて病気がちである。勤めが忙しい。幼い子どもがいる。介護がある。などなど関われない理由もいっぱいあります。

私は、聖餐式準備や、婦人会が担当する昼食づくりなど任せられています。毎年秋に催されるガーデンセールでの働きも楽しいものです。

が、しかしそんな働きもいつかは困難で関われなくなる時がきますよね。

そんな時、私は明るく積極的にお世話になろうと思っています。決して頑なににならないで。感謝して心から”お世話になります。ありがとう”、と柔軟な心・素直な心を培っていきたいと思います。かつて阪神大震災の折、復興住宅の高齢者のお世話を任された時、人の輪の中で孤立せずうまくやっていた人は素直に”お世話され上手”の人たちでした。

聖書ヨハネによる福音書13章にイエスが、”弟子の足を洗う”か所があります。一介の漁夫ペトロが素直に足を洗って頂いたという関わりが真の弟子として生きることができたのです。してあげる事よりお世話されることはやさしそうで難しい。

メネットの参加。何もお役に立てなくて心苦しい。教会で人のために「祈る」こともお役のように、メネット万歳！！、心より応援することもありかな？ お世話になりますね。